

●海兵團條例

明治二十二年四月十六日(勅令)

改正 明治二十三年二月一六號、二十九年三月六〇號消滅

海兵團條例

第一條 海兵團ハ鎮守府所在ノ地ニ置キ軍艦乗員ノ補充及軍港
守禦ノ兵ニ充ツヘキ現役下士卒ヲ教育訓練シ新兵ヲ徵募シ豫
備兵後備兵ヲ招集スル所トス

第二條 海兵團ハ所屬鎮守府ノ名ヲ冠シテ某海兵團ト稱ス
乘艦ヲ免シタル下士卒ハ海兵團ニ入營セシムルモノト
ス

第三條 海兵團ノ下士卒ハ分テ若干分隊トシ其機關部ニ屬スル
モノハ別ニ一部若クハ若干部ニ分ツ

第四條 海兵團ノ職員ハ左ノ如シ

團長	一人	大佐
副長	一人	少佐
分隊長	若干人	大尉
徵募官	二人	機關少監
機關長	一人	大機關士或ハ少機關士
機關士	若干人	軍醫少監
軍醫長	一人	大軍醫或ハ少軍醫
軍醫	若干人	主計少監

主計若干人 大主計或ハ少主計

第五條 團長ハ軍港司令官ニ隸シ部下ヲ監督シ軍紀風紀ヲ維持シ團中ノ事務ヲ總理シ下士卒ヲ教育訓練スルヲ任トス

第六條 團長ハ徵募ノ事務ニ於テハ直ニ司令長官ノ指揮ヲ受ク
ヘン

第七條 副長ハ團長ヲ輔佐シ團長ノ命令ヲ執行シ團中ノ定則ヲ維持シ團長事故アルトキハ其代理ヲ爲ス

第八條 分隊長ハ其隊員ノ軍紀風紀ヲ維持シ之ヲ教育訓練スルコトヲ掌ル

第九條 徵募官ハ兵籍ヲ主管シ徵兵募兵ニ關スル事務及豫備兵後備兵ノ招集簡閱點呼ニ關スル事務ヲ掌ル

第十條 機關長ハ其部下ノ軍紀風紀ヲ維持シ之ヲ教育訓練スルコトヲ任トシ又附屬艦船ノ機關ニ係ル事ヲ掌ル

第十一條 機關士ハ機關長ヲ助ケ其主務ニ從事ス

第十二條 軍醫長ハ團中ノ醫務衛生ヲ掌ル

第十三條 軍醫ハ軍醫長ヲ助ケ其主務ニ從事ス

第十四條 主計長ハ會計給與ヲ掌ル

第十五條 主計ハ主計長ヲ助ケ其主務ニ從事ス

第十六條 第四條ニ掲タル職員ノ外定員トシテ準士官下士卒若干人ヲ置ク

明治二十三年二月十八日 (勅令一六)

海兵團條例中左ノ通改正追加ス

第一條 海兵團ハ鎮守府所在ノ地ニ置キ團隊其他各部定員ノ補缺ニ充ツヘキ現役下士卒ヲ教育訓練シ軍港内ノ守衛ヲ要ス

ル場所ニ守兵ヲ派出シ新兵ヲ徵募シ豫備兵後備兵ヲ招集スル所トス

海兵團ハ所屬鎮守府ノ名ヲ冠シテ某海兵團ト稱ス

第二條中「乘艦」ヲ「艦船隊廳ノ勤務」ト改ム

第三條中「一部若クハ」ノ五字ヲ刪除ス

第四條 海兵團ノ職員ハ左ノ如シ

團長 一人 大佐

副長 一人 少佐

分隊長 若干人

徵募官 二人

機關長 一人

機關士 少尉

軍醫長 一人

軍醫 若干人

主計長 一人

分隊士 若干人

軍醫少監 一人

主計少監 一人

●海兵團條例

明治二十九年三月二十六日 (勅令六〇)

改正 (明治三十年十月四〇五號、三十三年三月四二號、五月二三九號、大正二年三月軍令海一二號消滅)

海兵團條例

第一條 各軍港ニ海兵團ヲ置ク
海兵團ハ其所在ノ地名ヲ冠稱ス

第二條 海兵團ハ鎮守府ニ屬シ海軍下士卒ノ教育訓練艦船團其ノ他各部下士卒定員ノ補缺軍港ノ守衛兵員徵募召集ヲ掌ル所

トス

第三條 艦船團其ノ他各部ノ勤務若クハ練習等ヲ免シタル海軍下士卒ハ海兵團ニ入團セシメ艦船團其ノ他各部定員ノ補缺員ト稱ス

補缺員ハ臨時ノ業務ニ服セシムルコトヲ得

第四條 海兵團ニ左ノ職員ヲ置ク

團長

海軍大佐

副長

海軍少佐

徵募官

海軍大尉

機關長

海軍機關少監

分隊長

海軍大尉及大機關士

軍醫長

海軍軍醫少監

主計長

海軍主計少監

前項ノ外必要ニ應シ海軍少尉少機關士大軍醫少軍醫大主計及

少主計ヲ置ク

第五條 團長ハ鎮守府司令長官ニ隸シ部下ヲ統率訓練シ軍紀風

紀ヲ維持シ團務ヲ總理ス

第六條 團長ハ部下ノ職員事故アルトキハ他ノ職員ヲシテ代理

セシムルコトヲ得

第七條 副長ハ團長ヲ輔佐シ團長ノ命令ヲ執行シ團内ノ定則ヲ

維持シ團長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第八條 徵募官ハ團長ノ命ヲ承ケ兵籍ヲ主管シ徵兵募兵及艦船

團其ノ他各部定員ノ補缺竝ニ豫備兵後備兵ノ召集簡閱點呼ニ

關スル事ヲ掌ル

第九條 大尉タル分隊長ハ團長ノ命ヲ承ケ各部署ノ長ト爲リ隊

員ノ紀律ヲ維持シ分擔ノ兵器及要具ヲ整頓シ及教育訓練ニ關スル事ヲ掌ル又先任分隊長ハ副長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

トス

第十條 大尉タル分隊長ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ當直士官ト稱シ團長ノ命ヲ承ケ團務ヲ掌理ス

第十一條 少尉ハ團長ノ指定ニリ大尉タル分隊長ニ屬シ其ノ命ヲ承ケ服務ス

第十二條 少尉ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ副直士官ト稱シ當直士官ノ命ヲ承ケ服務ス

第十三條 機關長ハ團長ノ命ヲ承ケ部下ノ紀律ヲ維持シ又教育

訓練ニ任シ及機關ニ關スル事ヲ掌ル

第十四條 大機關士タル分隊長ハ團長ノ指定ニ依リ機關長ノ命ヲ承ケ各部署ノ長ト爲リ隊員ノ紀律ヲ維持シ分擔ノ諸機械ヲ

整頓シ及教育訓練ニ關スル事ヲ掌ル

第十五條 少機關士ハ團長ノ指定ニ依リ機關長若クハ大機關士

タル分隊長ニ屬シ其ノ命ヲ承ケ服務ス

第十六條 軍醫長ハ團長ノ命ヲ承ケ醫務衛生ニ關スル事ヲ掌ル

第十七條 大軍醫及少軍醫ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十八條 主計長ハ團長ノ命ヲ承ケ會計給與ニ關スル事ヲ掌リ

及庶務ヲ掌理ス

第十九條 大主計及少主計ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十條 第四條ニ掲タル職員ノ外海軍准士官下士卒ヲ置キ各

上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

明治三十年十月二十八日（勅令四〇五）

附 則

第二十一條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

海兵團條例中左ノ通リ改正ス

第四條 海兵團ニ左ノ職員ヲ置ク

團長

副長

徵募官

機關長

分隊長

軍醫長

主計長

前項ノ外必要ニ應シ海軍中尉、少尉、中機關士、少機關士、

軍醫及主計ヲ置ク

第九條中「大尉タル分隊長」ヲ「將校分隊長」ニ改メ「先任」ノ下ニ「將校」ノ二字ヲ加フ

第十條及第十一條中「大尉タル分隊長」ヲ「將校分隊長」ニ改ム

第十一條及第十二條中「少尉」ヲ「中尉及少尉」ニ改ム

第十四條及第十五條中「大機關士タル分隊長」ヲ「機關官分隊長」ニ改ム

第十五條中「少機關士」ヲ「中機關士及少機關士」ニ改ム

第十七條中「大軍醫及少軍醫」ヲ「軍醫」ニ改ム

第十九條中「大主計及少主計」ヲ「主計」ニ改ム

第二十條中「海軍」ノ下ニ「兵曹長及同相當官」ノ八字ヲ加フ
附則

本令ハ明治三十年十二月一日ヨリ施行ス

明治三十三年三月二日(勅令四二)

海兵團條例中左ノ通改正ス

第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二 副長事故アルトキハ先任將校其ノ職務ヲ代理ス

第九條中「又先任將校分隊長ハ副長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス」ヲ削ル

明治三十三年五月二十四日(勅令二三九)

海兵團條例中左ノ通改正ス
第二條 海兵團ハ鎮守府ニ屬シ海軍下士卒ノ教育訓練及軍港ノ守衛ヲ掌リ補缺員ヲ統轄スル所トス

第四條中「徵募官」ヲ削ル

第八條 削除

第十條及第十二條中「士官」ヲ「將校」ニ改ム

●海兵團條例

大正二年三月二十八日(軍令海一二)

大正九年六月二號廢止

海兵團條例

第一條 各軍港ニ海兵團ヲ置ク

海兵團ハ其ノ所在ノ地名ヲ冠稱ス

第二條 海兵團ハ鎮守府ニ屬シ海軍下士卒ノ教育軍港ノ警衛及陸上ノ防火ヲ掌リ又補缺員ヲ統轄スル所トス

第三條 海兵團ニハ必要ニ應シ艦船ヲ附屬セシム

第四條 海兵團ハ艦船團其ノ他各部ノ勤務又ハ練習等ヲ免セラレタル海軍下士卒ヲ補缺員トシテ收容シ必要ニ應シ之ヲ艦船

團其ノ他各部定員ノ補缺ニ充當ス

第五條 海兵團ニ左ノ職員ヲ置ク

團長
副長

機關長

分隊長

軍醫長

主計長

前項ノ外必要ニ應シ海軍中少尉、機關中少尉、軍醫及主計ヲ置ク

第六條 團長ハ鎮守府司令長官ニ隸シ部下ヲ統率訓練シ軍紀風紀ヲ維持シ團務ヲ總理ス

團長ハ必要ニ應シ部下ヲ附屬艦船ニ起臥セシムルコトヲ得

第七條 團長ハ部下ノ職員缺員中又ハ事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ他ノ職員ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第八條 副長ハ團長ヲ輔佐シ團長ノ命令ヲ執行シ團内ノ定則ヲ維持シ團長事故アルトキハ其ノ他ノ將校席次ノ順序ニ從ヒ其職務ヲ代理ス

第九條 副長事故アルトキハ其ノ他ノ將校席次ノ順序ニ從ヒ其職務ヲ代理ス

第十條 將校分隊長ハ團長ノ命ヲ承ケ各部署ノ長ト爲リ隊員ノ紀律ヲ維持シ分擔ノ兵器及要具ヲ整頓シ又教育訓練ニ關スル事ヲ掌ル

第十一條 將校分隊長ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ當直將校ト稱シ團長ノ命ヲ承ケ團務ヲ掌理ス

第十二條 中尉及少尉ハ團長ノ指定ニ依リ副長及將校分隊長ニ屬シ其ノ命ヲ承ケ服務ス

第十三條 中尉及少尉ハ交番當直ノ勤務ニ服ス此ノ場合ニ於テハ副直將校ト稱シ當直將校ノ命ヲ承ケ服務ス

第十四條 機關長ハ團長ノ命ヲ承ケ部下ノ紀律ヲ維持シ教育訓練ニ任シ又機關ニ關スル事ヲ掌ル

第十五條 機關官分隊長ハ團長ノ指定ニ依リ機關長ノ命ヲ承ケ各部署ノ長ト爲リ隊員ノ紀律ヲ維持シ分擔ノ諸機械ヲ整頓シ又教育訓練ニ關スル事ヲ掌ル

第十六條 機關中尉及機關少尉ハ團長ノ指定ニ依リ機關長又ハ機關官分隊長ニ屬シ其ノ命ヲ承ケ服務ス

第十七條 軍醫長ハ團長ノ命ヲ承ケ醫務衛生ニ關スル事ヲ掌ル

第十八條 軍醫ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ服務ス

第十九條 主計長ハ團長ノ命ヲ承ケ會計給與ニ關スル事ヲ掌リ又庶務ヲ掌理ス

第二十條 主計ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス

第二十一條 第五條ニ掲クル職員ノ外海軍兵曹長同相當官准士官及下士卒ヲ置キ各上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

附則

本令ハ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス